

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【公表番号】特表 2011-515237 (P2011-515237A)

【公表日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2011-020

【出願番号】特願 2009-547259 (P2009-547259)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 0 5 C 5/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 14 日 (2011.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

室を画定する構造であって、該室が第 1 表面と第 2 表面とを含み、該第 1 表面がノズル孔を含む、構造と、

前記ノズル孔と反対である前記室の前記第 2 表面に設けられた液滴形成機構と、

前記室との流体連通状態にある第 1 液体供給通路および第 2 液体供給通路と、

多区分液体流入口であって、該液体流入口の第 1 区分が前記第 1 液体供給通路との流体連通状態にあり、該液体流入口の第 2 区分が前記第 2 液体供給通路との流体連通状態にある、多区分液体流入口と、

を包含する液体吐出装置。

【請求項 2】

室のアレイを画定する構造であって、各室がノズル孔を有する、構造と、

各室に設けられた液滴形成機構と、

各室との流体連通状態にある第 1 および第 2 液体供給通路であって、各室から反対方向に延出する第 1 および第 2 液体供給通路と、

複数の第 1 区分と複数の第 2 区分とを包含する多区分流入口であって、該液体流入口の該第 1 区分の各々が前記第 1 液体供給通路との流体連通状態にあり、該液体流入口の該第 2 区分の各々が前記第 2 液体供給通路との流体連通状態にあって、該複数の第 1 区分と該複数の第 2 区分とが前記ノズル孔の反対側に設けられる、多区分流入口と、
を包含する液体吐出装置。

【請求項 3】

ノズル孔を有する室を画定する構造と、

前記室に設けられた液滴形成機構と、

前記室との流体連通状態にある第 1 および第 2 液体供給通路と、

多区分流入口であり、該液体流入口の第 1 区分が前記第 1 液体供給通路との流体連通状態にあって、該液体流入口の第 2 区分が前記第 2 液体供給通路との流体連通状態にあり、該液体流入口の該第 1 区分と該液体流入口の該第 2 区分とが、前記ノズル孔と直交する面から見て相互に対してオフセットして配置される、多区分流入口と、

を包含する液体吐出装置。